

長期脱炭素電源オークション (応札年度：2026年度)

期待容量等算定諸元一覧作成に ついての補足説明

2026年9月
電力広域的運営推進機関

1. 電源種別及び燃料又は発電方式に応じた期待容量等算定諸元一覧の区分
2. 期待容量の算定方法
 - 安定電源（揚水、蓄電池、LDESを除く）
 - 変動電源
 - 安定電源（揚水、蓄電池、LDES）
3. 応札容量の算定方法
 - 安定電源（揚水、蓄電池、LDESを除く）
 - 変動電源
 - 安定電源（揚水、蓄電池、LDES）
4. アセスメント対象容量
 - 安定電源（揚水、蓄電池、LDESを除く）
 - 変動電源
 - 安定電源（揚水、蓄電池、LDES）
5. その他

1. 電源種別及び燃料又は発電方式に応じた期待容量等算定諸元一覧の区分

3

- 電源種別及び燃料又は発電方式に応じて、使用する期待容量等算定諸元一覧については、以下の3つのグループに分けられます。
- 各グループの期待容量の算定、応札容量の算定、アセスメント対象容量については、以降のスライドで説明します。

対象	電源種別	燃料又は 発電方式	専焼/混焼	新設・リプレイス等/ 改修	使用する期待容量等算定諸元一覧		
					安定電源 (揚水、蓄電池、LDESを除く)	安定電源※1 (揚水、蓄電池、LDES)	変動電源
脱炭素 電源	太陽光	—	—	新設・リプレイス			○
	風力	陸上風力、洋上風力	—	新設・リプレイス			○
	蓄電池	—	—	新設・リプレイス		○	
	長期エネルギー 貯蔵システム	—	—	新設・リプレイス		○	
	水力	揚水	—	新設・リプレイス・既設の大規模改修※2		○	
		一般(貯水池式)	—	新設・リプレイス	○		○※4
		一般(調整池式)	—		○		○※4
		一般(流入式)※3	—				○
	地熱	—	—	新設・リプレイス	○		
	原子力	—	—	新設・リプレイス・ 既設の安全対策投資※4	○		
	火力	水素※5	専焼	新設・リプレイス/改修	○		
			混焼		○		
		アンモニア※5	専焼	新設・リプレイス/改修	○		
			混焼	改修	○		
		CCS※6	—	改修	○		
		バイオマス	専焼	新設・リプレイス/改修	○		
LNG専焼 火力	火力	LNG火力	専焼	新設・リプレイス	○		

※1 本オークションに参加可能な設備容量（送電端）で、1日1回以上連続6時間以上の運転継続が可能な能力を有するもの

※2 「オーバーホール（水車及び発電機を全て分解し、各部品の点検、手入れ、取替えや修理）を行う場合であって、主要な設備（発電機（固定子）、主要変圧器、制御盤）の全部を更新するもの」が該当

※3 貯水池式・調整池式においても安定的に供給力を提供できないものは、変動電源として参加可能 ※4 2013年7月に施行された新規制基準に対応するための投資を対象

※5 水素・アンモニアの燃料種については、CI値(Carbon Intensity：炭素集約度)が、3.4kg-CO₂e/kg-H₂以下となる低炭素水素、0.87kg-CO₂e/kg-NH₃以下となる低炭素アンモニアを対象

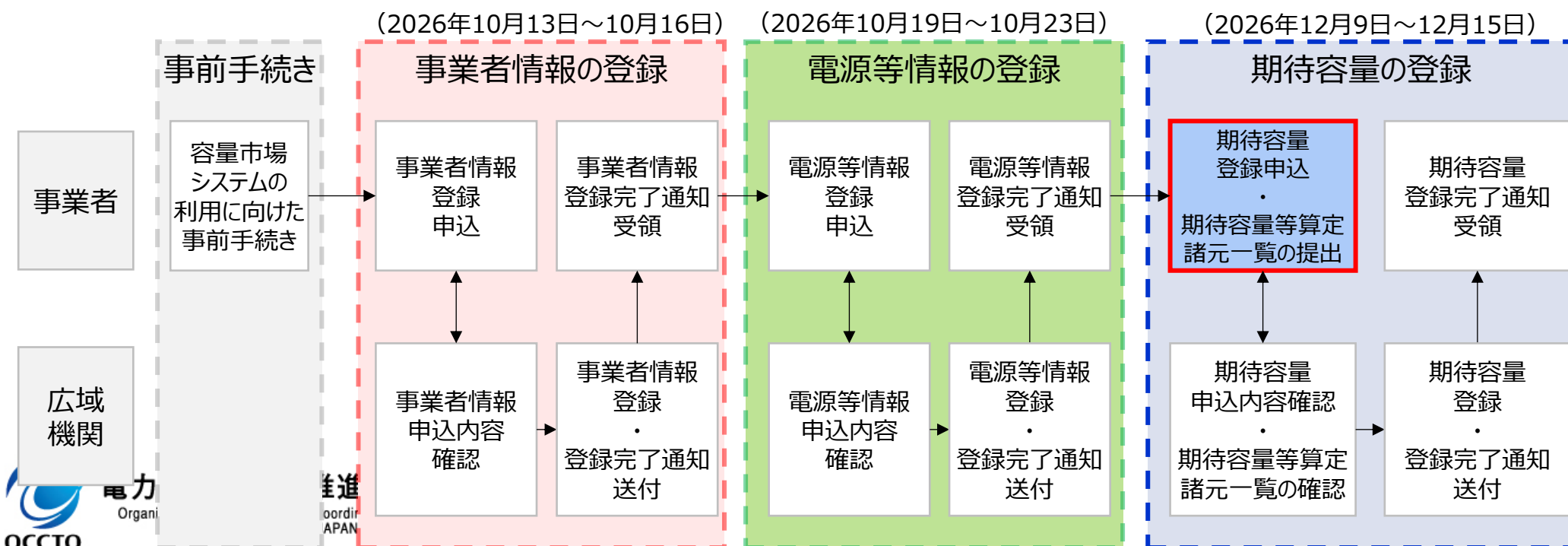
※6 年間CO₂発生量に対する年間CO₂回収量を敷地条件による設備の設置制約の範囲内で最大限増加（ただし、20%以上増加を最低限とする。）させる電源のみを対象

「期待容量等算定諸元一覧」についての補足説明

期待容量の算定

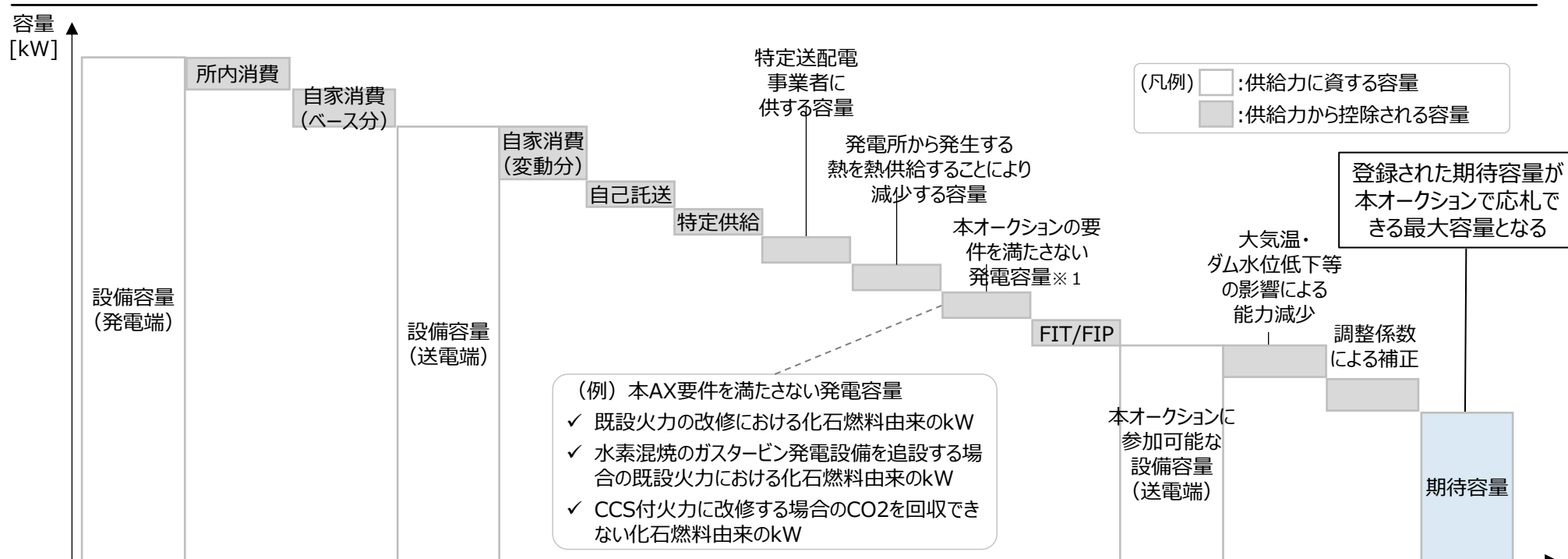
- 期待容量の登録に当たっては、『期待容量等算定諸元一覧』を用いて、応札する電源の期待容量を算定してください。
- 『期待容量等算定諸元一覧』に必要な項目を入力すると、期待容量が自動計算されます。この際、**補修等に伴う出力減少分は差し引きません**（補修等に伴う出力減少については、容量停止計画を提出してください）。
- 参加登録申請者は、自動計算された期待容量及び算定に用いた『期待容量等算定諸元一覧』を容量市場システムに登録してください。（**登録受付期間：2026年12月9日～12月15日**）
- 容量市場システムに登録された期待容量と『期待容量等算定諸元一覧』の入力内容に不整合がある場合や、『期待容量等算定諸元一覧』の入力内容が不適切な場合、期待容量が登録できませんのでご注意ください。

【凡例】 本資料での説明対象



- 期待容量とは、「電源等情報として登録した設備容量（送電端）のうち、制度適用期間において供給区域の供給力として期待できる容量」を指し、kW単位で登録します。
- 登録いただいた期待容量は、**制度適用期間（原則20年）の全年度共通の期待容量**として取り扱います。
- 期待容量は、「電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドライン」に基づき、算定されます。ただし、自家消費・自己託送・特定供給・特定送配電事業者に供する容量などは除いた上で、公表された調整係数を乗じて算定されます。（算定方法は次頁以降で解説）

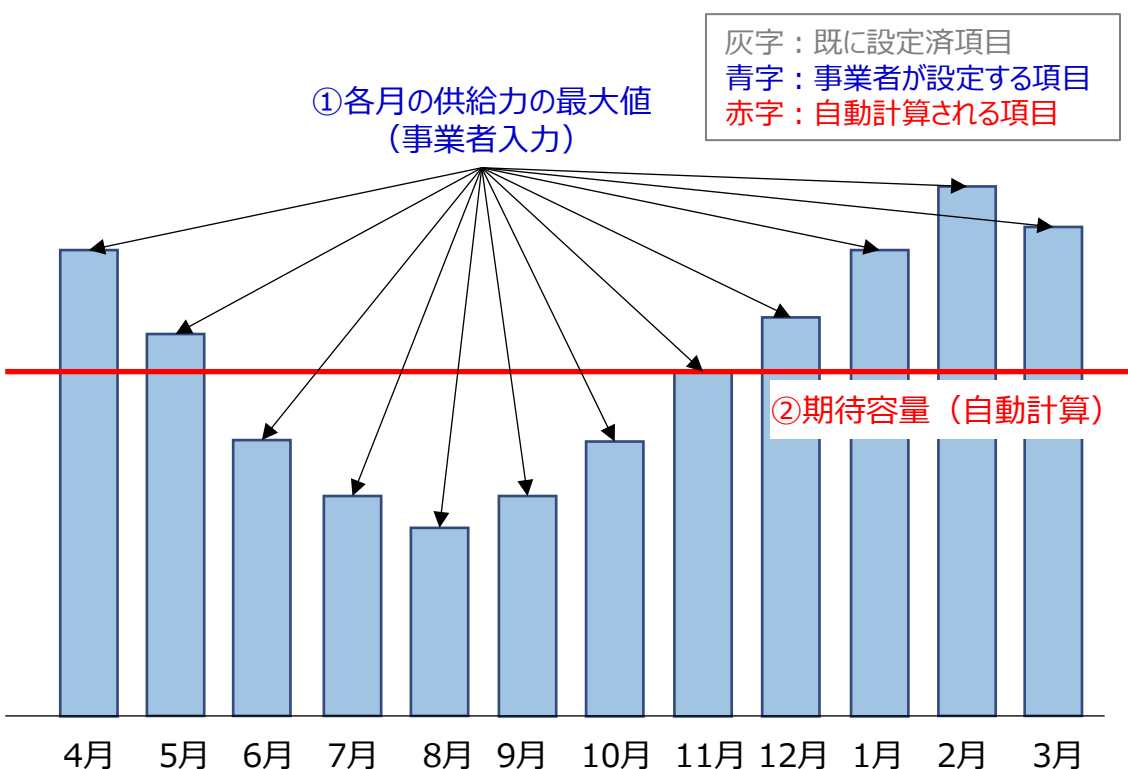
期待容量の考え方



2. 期待容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池、LDESを除く）】

7

- 「各月の供給力の最大値」を入力することにより、期待容量が自動計算されます。
- 「各月の供給力の最大値」については、「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」から「大気温及びダム水位低下等の影響による能力減分」を差し引いた値を入力してください。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
新設/リプレース/既設火力の改修	新設				
電源種別	LNG専焼火力				
エリア名	東京				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
①	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
②					

2. 期待容量の算定方法【変動電源】

8

- 「電源種別」及び「エリア名」から、調整係数が自動計算されます。
- 「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」を入力することにより、期待容量が自動計算されます。

灰字：既に設定済の項目
青字：事業者が設定する項目
赤字：自動計算する項目

①本オークションに参加可能な設備容量(送電端)（事業者入力）

・電源種（事業者入力）
・エリア名（事業者入力）
→調整係数を自動計算

自動計算された
調整係数に応じた
容量減

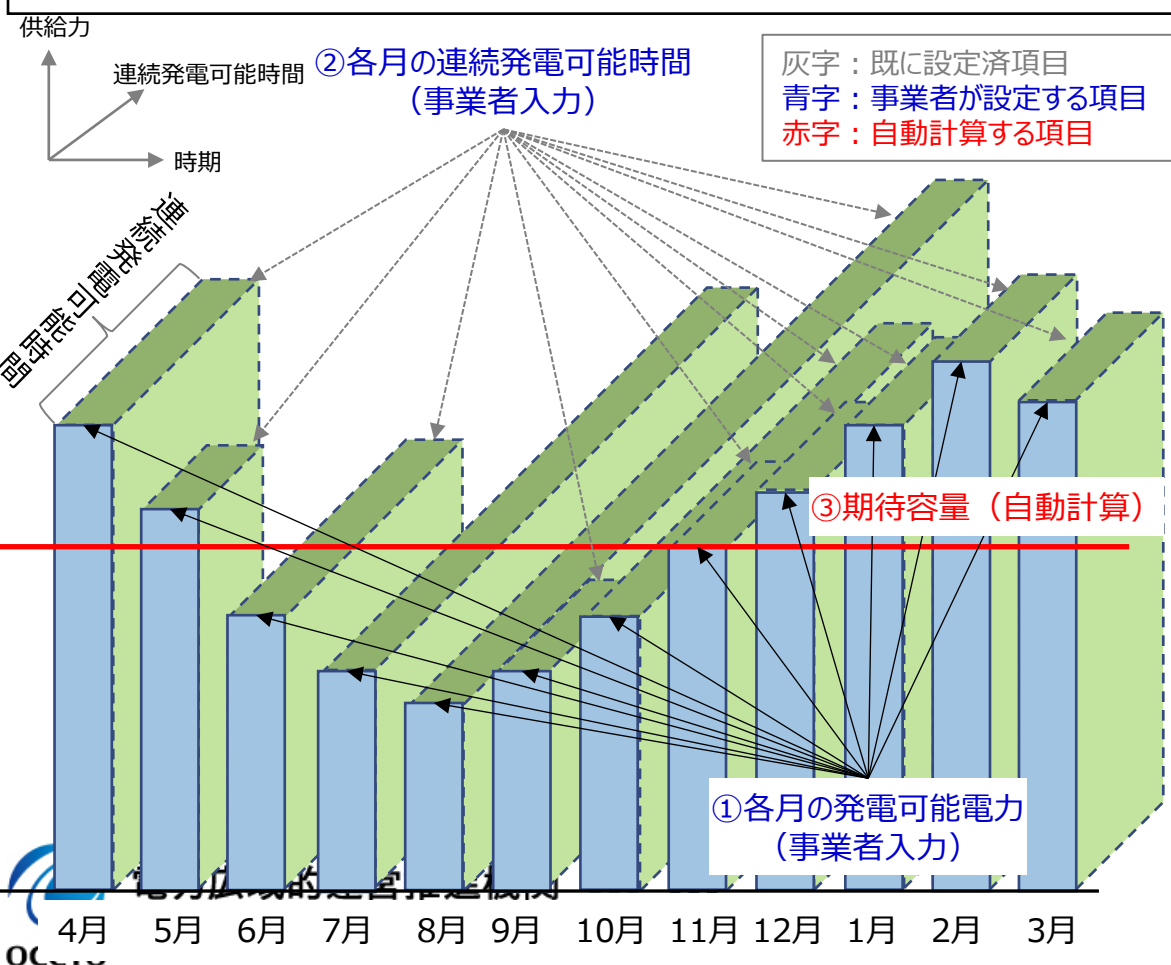
②期待容量
(自動計算)

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力
容量を提供する 電源等の区分	変動電源
新設/リプレイス	新設
電源種別	太陽光
エリア名	東京
本オークションに参加可能 な設備容量(送電端) ①	11万kW
調整係数	9.1%
期待容量 ②	8,983 kW

2. 期待容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池、LDES）】

- 「エリア名」、「各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)」を入力することにより、調整係数が自動計算されます。
なお、「各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)」については、上池満水位時もしくは満充電時において、「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」で発電した場合に連続運転が可能な時間を入力してください。
- 「各月の発電可能電力」を入力することにより、期待容量が自動計算されます。
なお、「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」については、「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」から「大気温及びダム水位低下等の影響による能力減分」を差し引いた値を入力してください。



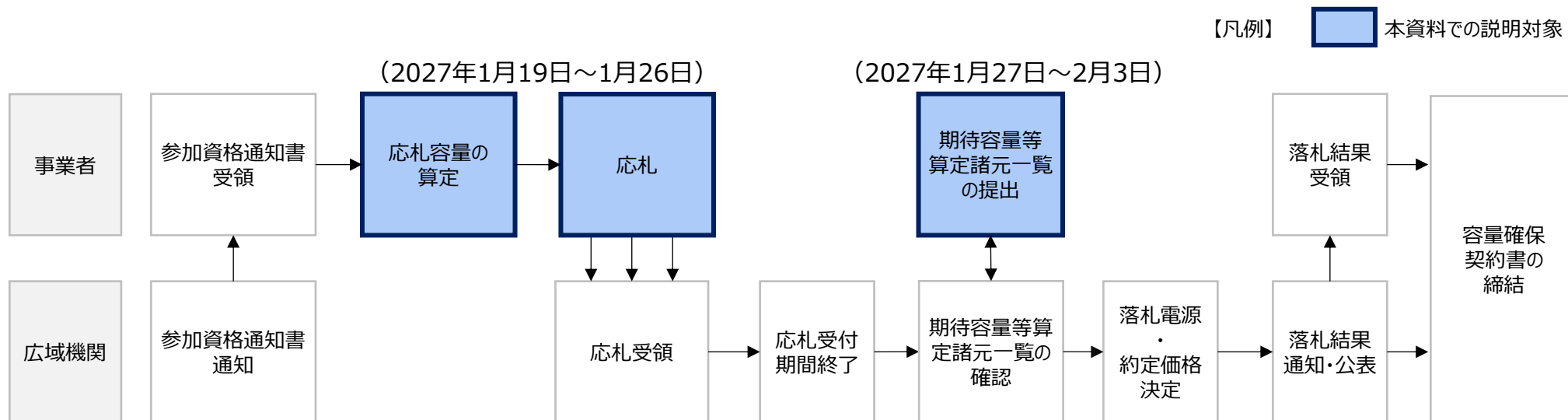
期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
新設/リプレイス	新設				
電源種別	蓄電池 (リチウムイオン蓄電池)				
エリア名	東京				
本オークションに参加可能な設備容量 (送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力 (期待容量算出用) ①	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間 (期待容量算出用) ②	4月	5月	...	2月	3月
	8h	3h	...	5h	5h
連続発電可能時間 (年平均値)	7h				
期待容量 ③	45,254 kW				

「期待容量等算定諸元一覧」についての補足説明

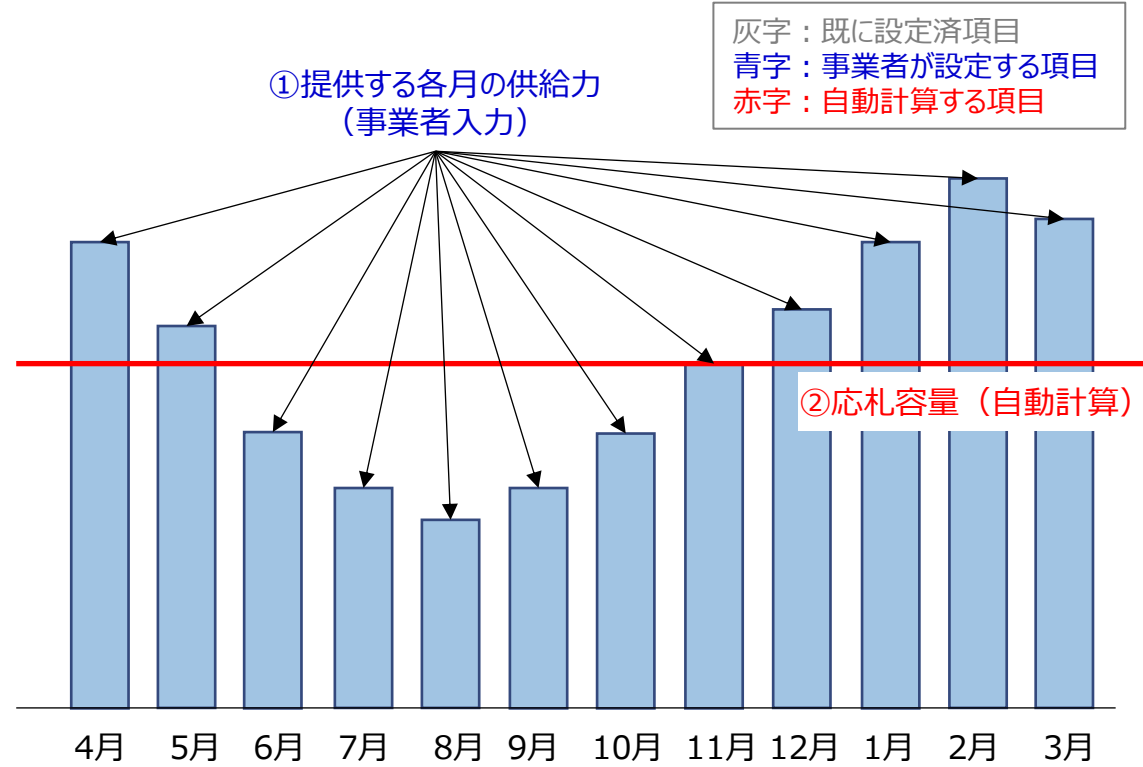
応札容量の算定

- 期待容量の範囲内で、任意の応札容量を設定することが可能です。この際、**補修等に伴う出力減少分は差し引きません**（補修等に伴う出力減少については、容量停止計画を提出してください）
- 参加登録申請者は、『期待容量等算定諸元一覧』を利用して算定した応札容量を容量市場システムに登録してください。（**応札受付期間：2027年1月19日～26日**）
- また、応札容量算定時に利用した『期待容量等算定諸元一覧』についても、容量市場システムに登録してください。（**登録受付：2027年1月27日～2月3日**）※応札した全ての電源について登録が必要です
- 登録された『期待容量等算定諸元一覧』と応札容量の不整合が解消されない場合や、『期待容量等算定諸元一覧』が提出されない場合等には、容量確保契約の解約（市場退出）となる場合があります。



3. 応札容量の算定方法【安定電源(揚水、蓄電池、LDESを除く)】 (期待容量 = 応札容量の場合)

- 期待容量の算定時に入力した「各月の供給力の最大値」以下の値で、「提供する各月の供給力」を設定することができます。
- 「提供する各月の供給力」を「各月の供給力の最大値」と等しい値で応札する場合、以下のようになります。

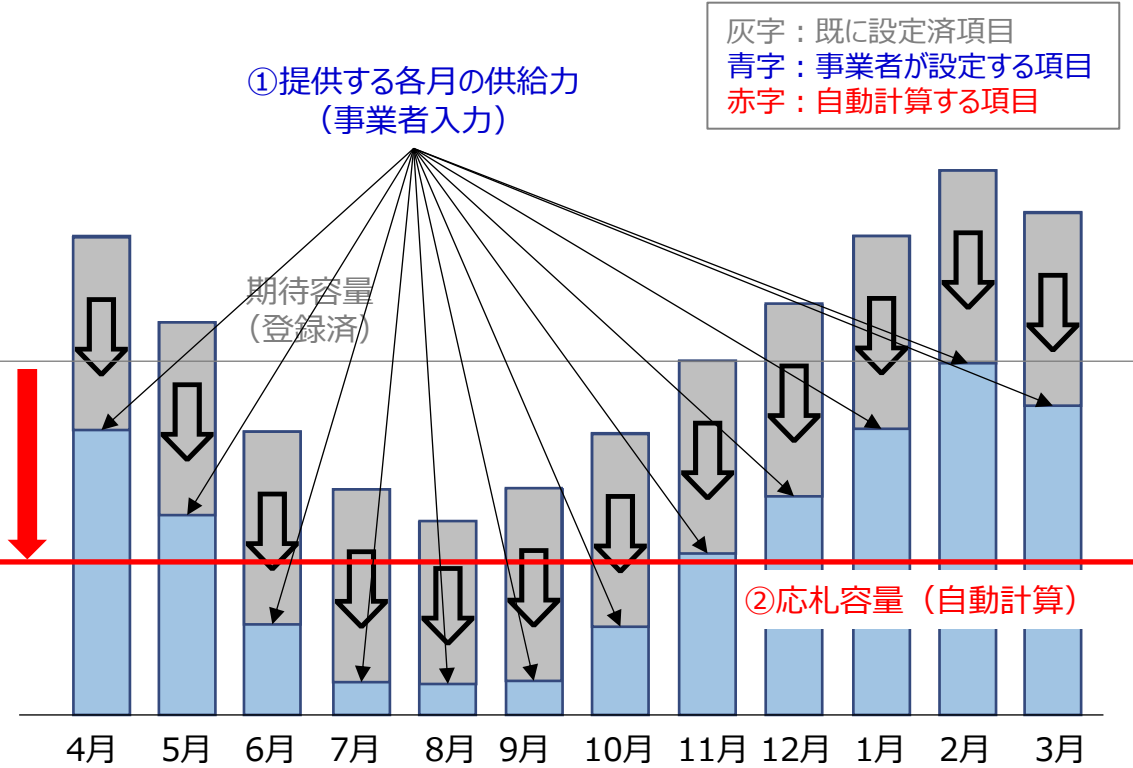


期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量	20万 kW				
制度適用期間	20年				

3. 応札容量の算定方法【安定電源(揚水、蓄電池、LDESを除く)】
(期待容量>応札容量の場合)

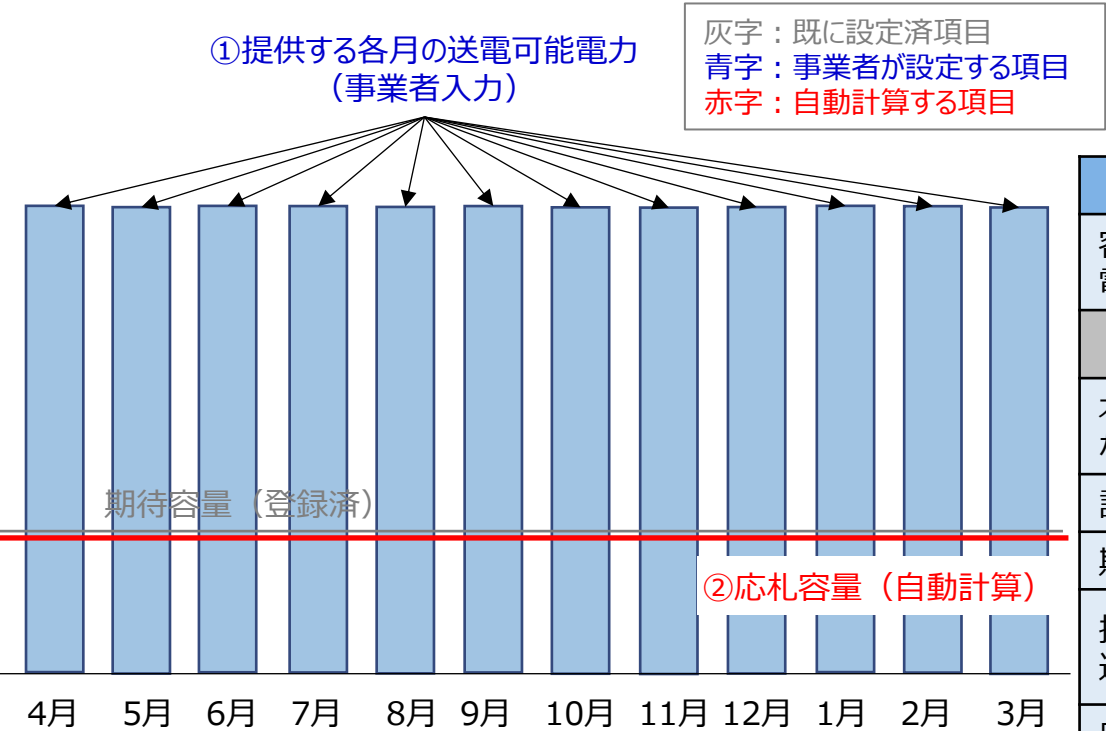
- 期待容量の算定時に入力した「各月の供給力の最大値」以下の値で、「提供する各月の供給力」を設定することができます。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、以下のようになります。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	① 20万	18万	...	23万	22万
応札容量	② 19万 kW				
制度適用期間	20年				

- 期待容量の算定時に入力した「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」以下の値で、「提供する各月の送電可能電力」を設定することができます。
- 「提供する各月の送電可能電力」を「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」と等しい値で応札する場合、以下のようになります。

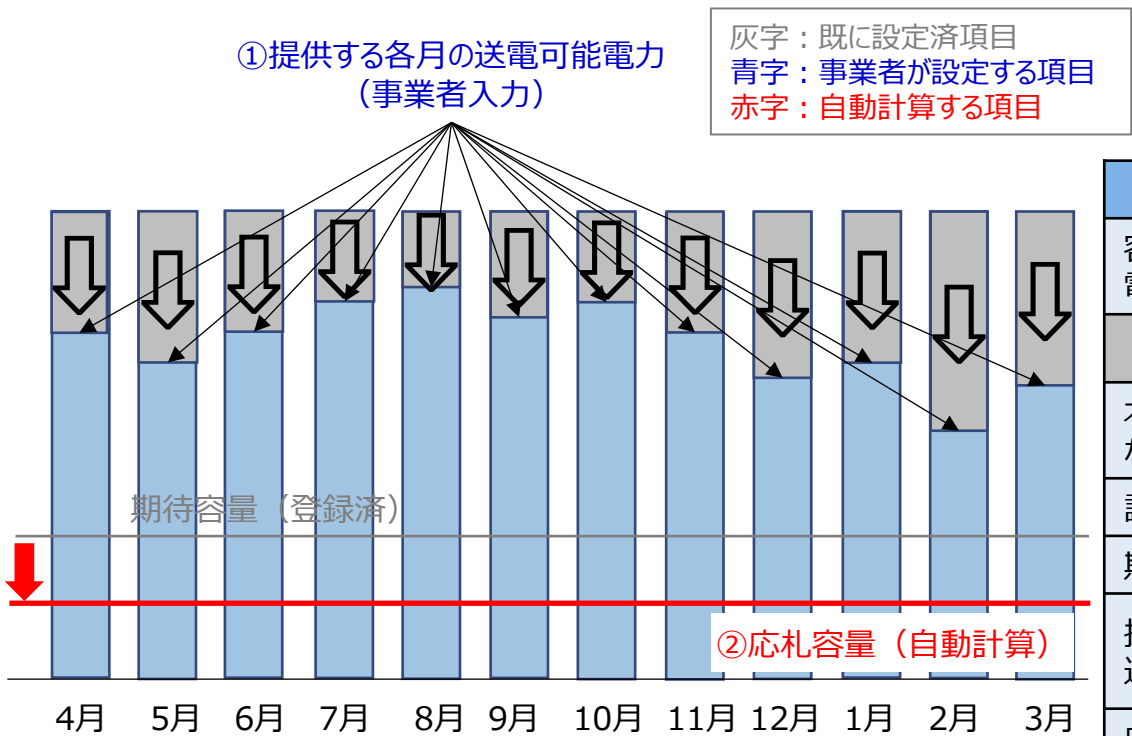


期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.1%				
期待容量	10,046 kW				
提供する各月の送電可能電力	4月	5月	...	2月	3月
①	11万	11万	...	11万	11万
応札容量	② 10,046 kW				
制度適用期間	20年				

3. 応札容量の算定方法【変動電源】（期待容量＞ 応札容量の場合）

- 期待容量の算定時に入力した「本オークションに参加可能な設備容量(送電端)」以下の値で、「提供する各月の送電可能電力」を設定することができます。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、以下のようになります。

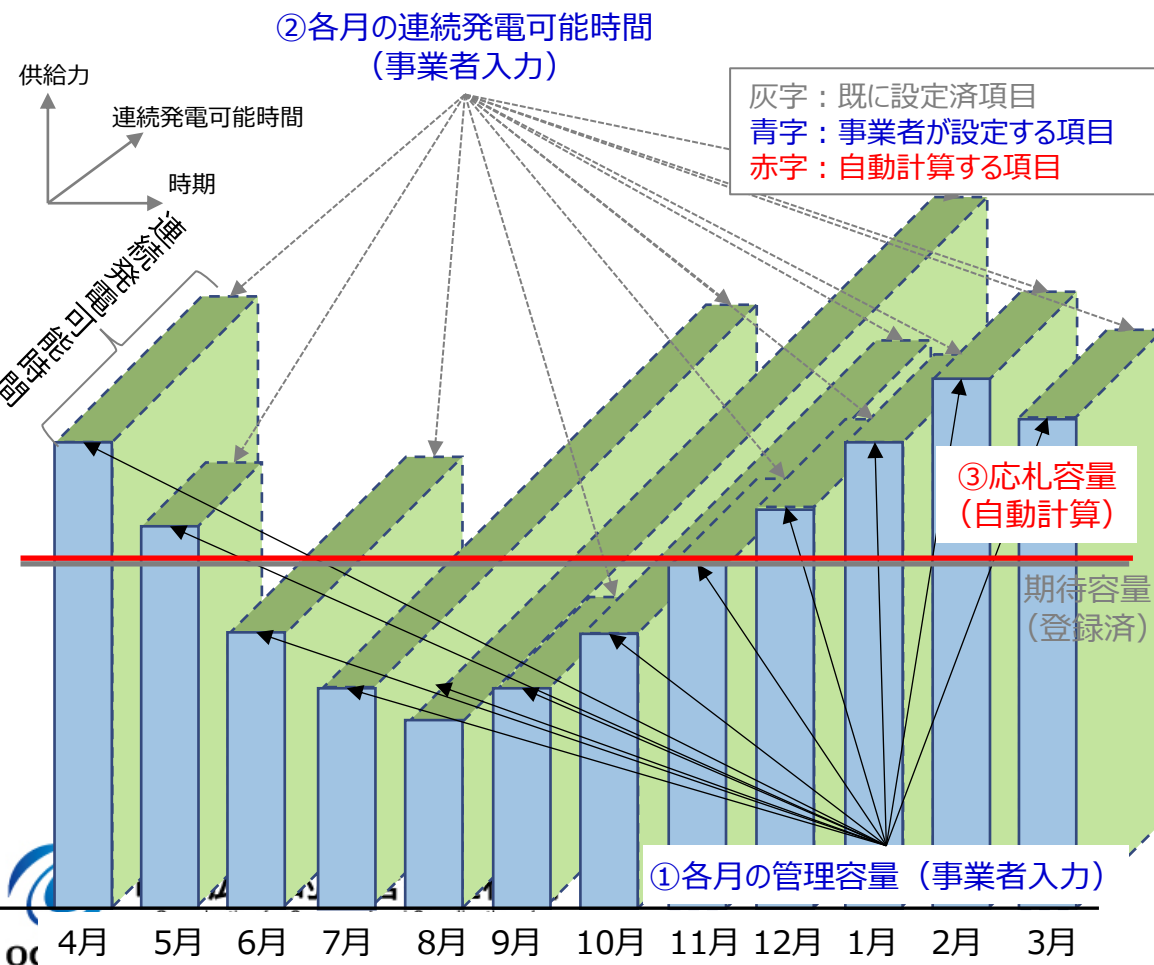


期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.1%				
期待容量	10,046 kW				
提供する各月の送電可能電力	4月	5月	...	2月	3月
①	10万	11万	...	10万	10万
応札容量	② 9,589 kW				
制度適用期間	20年				

3. 応札容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池、LDES）】
(期待容量 = 応札容量の場合)

- 「各月の管理容量」※1及び「各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)」※1を入力することにより、応札容量が自動計算されます。なお、ダム、蓄電池もしくはLDESの運用のリスク※2を踏まえ、設定してください。
※1 この値がアセスメント対象容量となり、当該容量にはあらゆる運用のリスクが織り込まれているものと見なし、アセスメントを実施します。
※2 運用のリスクの例 下池の制約、劣化による容量低下、早期連系追加対策による充電制限(時間・量)、充放電時の電流量、充放電可能量(kWh)、満充電維持時間、充放電サイクル数(1日1サイクル未満)による制約等。なお、満充電からの全量放電、全量放電からの満充電までの充放電量を1サイクルと見做します。
- 期待容量と等しい値で応札する場合、以下ようになります。

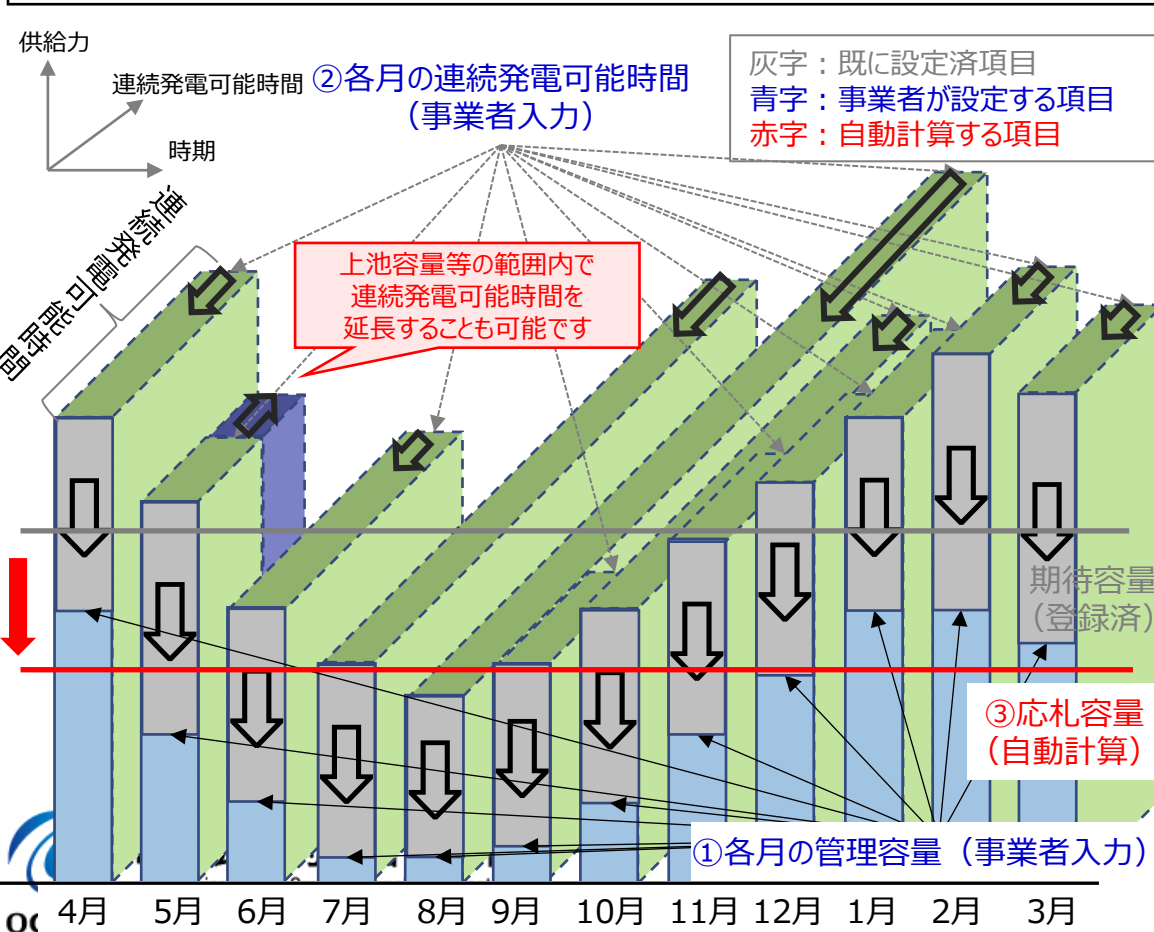


期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力 (期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量 ①	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(応札容量算出用) ②	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
連続発電可能時間 (年平均値)	7h				
応札容量 ③	45,254 kW				
制度適用期間	20年				

3. 応札容量の算定方法【安定電源（揚水、蓄電池、LDES）】
(期待容量>応札容量の場合)

- 「各月の管理容量」※1及び「各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)」※1を入力することにより、応札容量が自動計算されます。なお、ダム、蓄電池もしくはLDESの運用のリスク※2を踏まえ、設定してください。
※1 この値がアセスメント対象容量となり、当該容量にはあらゆる運用のリスクが織り込まれているものと見なし、アセスメントを実施します。
※2 運用のリスクの例 下池の制約、劣化による容量低下、早期連系追加対策による充電制限(時間・量)、充放電時の電流量、充放電可能量(kWh)、満充電維持時間、充放電サイクル数(1日1サイクル未満)による制約等。なお、満充電からの全量放電、全量放電からの満充電までの充放電量を1サイクルと見做します。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、入力した「各月の管理容量」と「各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)」の積が、期待容量の入力した「各月の発電可能電力(期待容量算出用)」と「各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)」の積を超えないようにしてください。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

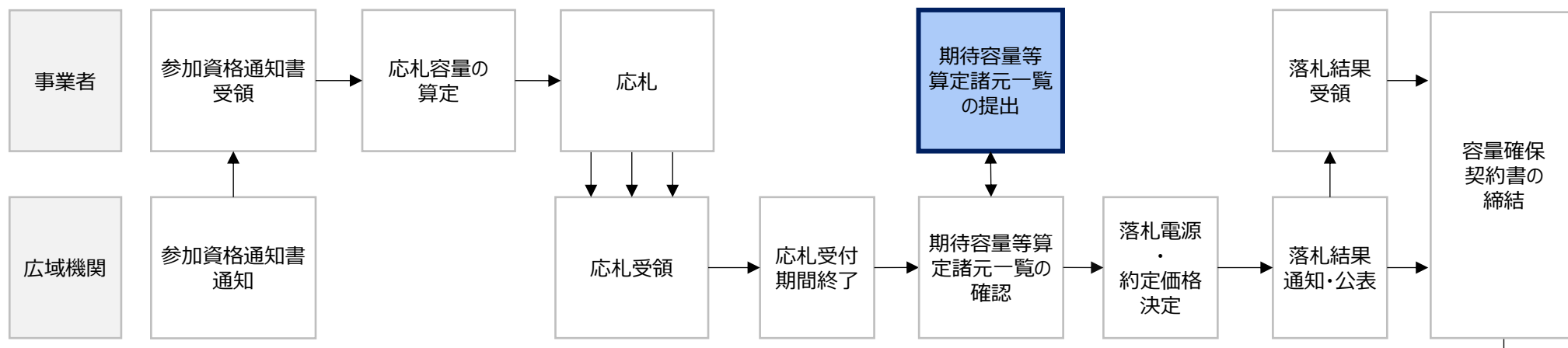
項目	事業者入力				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力 (期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量 ①	4月	5月	...	2月	3月
	4万	3万	...	4万	3万
各月の連続発電可能時間(応札容量算出用) ②	4月	5月	...	2月	3月
	7h	8h	...	8h	8h
連続発電可能時間 (年平均値)	6h				
応札容量 ③	34,479 kW				
制度適用期間	20年				

「期待容量等算定諸元一覧」についての補足説明

アセスメント対象容量について

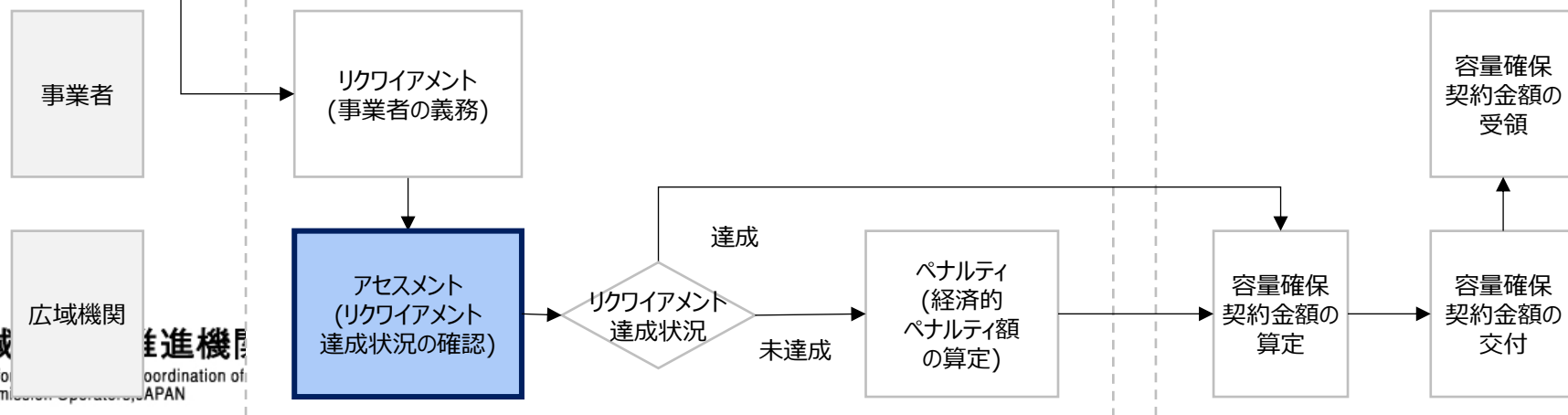
- 広域機関がリクワイアメントの達成状況を確認する際に利用するアセスメント対象容量については、応札容量の算定時に利用し、容量システムに登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている値を用います。

【凡例】 本資料での説明対象



リクワイアメント・アセスメント・ペナルティ

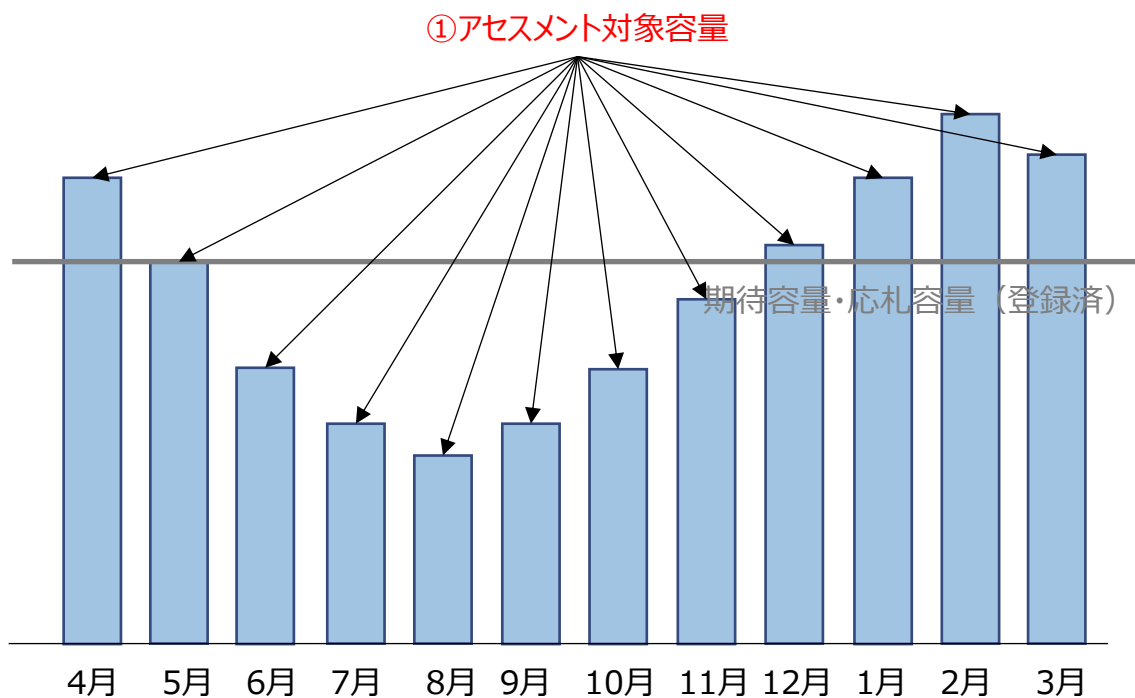
容量確保契約金額の交付



4. アセスメント対象容量【安定電源(揚水、蓄電池、LDESを除く)】 (期待容量 = 応札容量の場合)

20

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月ごとに設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

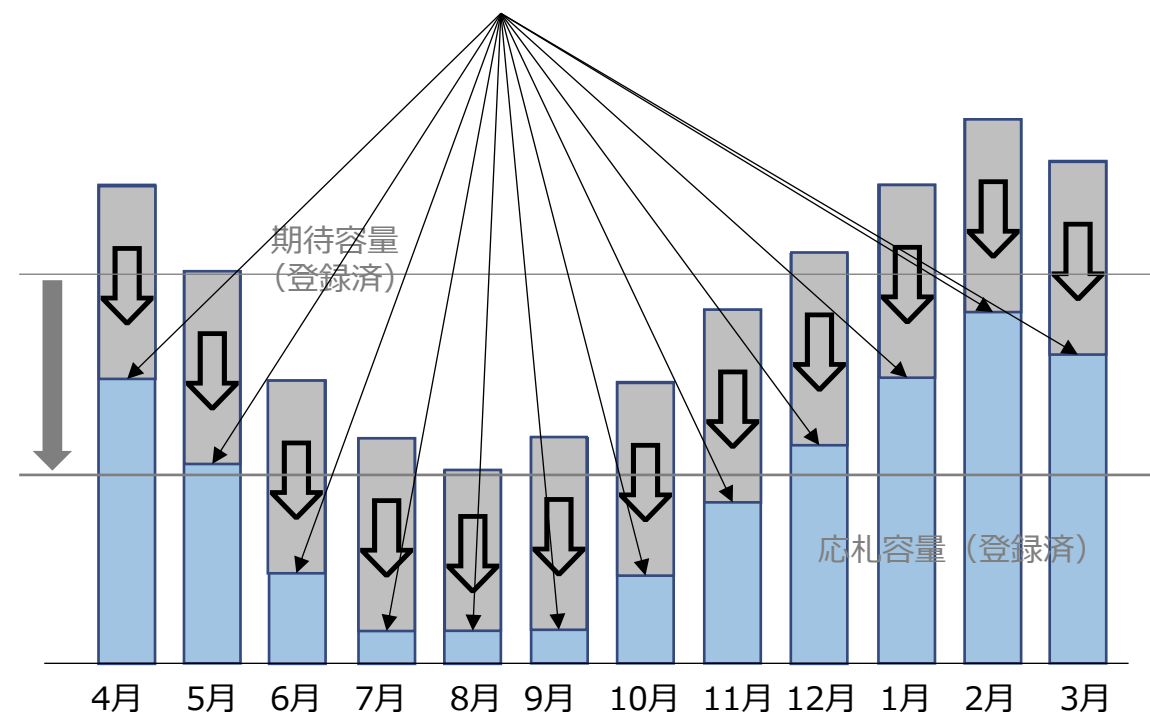
項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量	20万 kW				
制度適用期間	20年				

4. アセスメント対象容量【安定電源(揚水、蓄電池、LDESを除く)】 (期待容量>応札容量の場合)

21

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月ごとに設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

①アセスメント対象容量



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	安定電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	20万 kW				
提供する各月の供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	20万	18万	...	23万	22万
応札容量	19万 kW				
制度適用期間	20年				

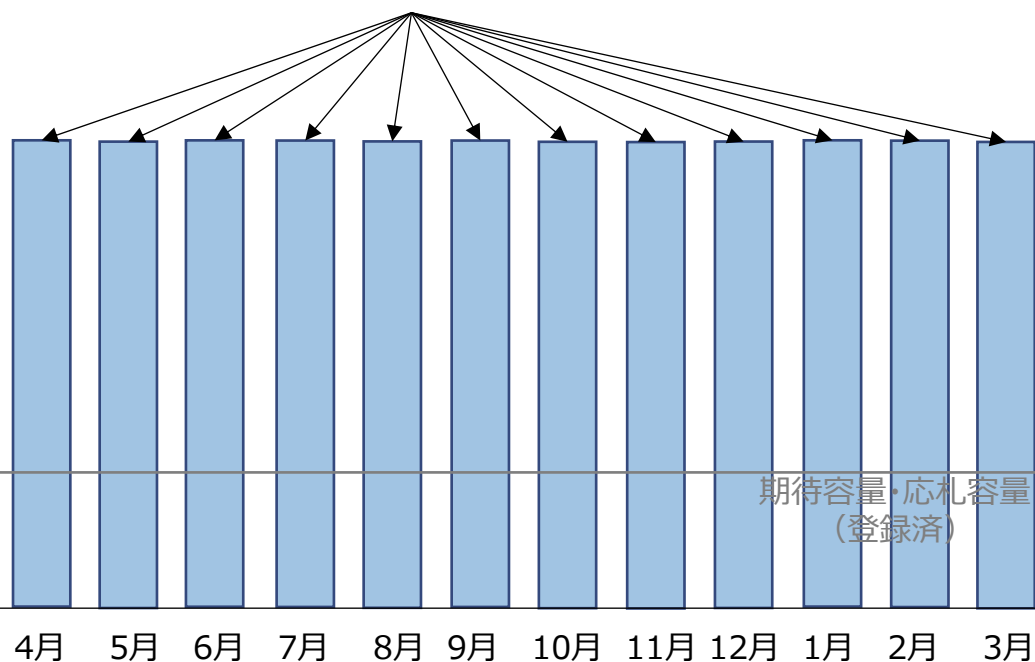
4. アセスメント対象容量【変動電源】（期待容量＝応札容量の場合）

22

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の送電可能電力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月ごとに設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

灰字：既に設定済項目
 青字：事業者が設定する項目
 赤字：自動計算する項目

①アセスメント対象容量



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
容量を提供する電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.0%				
期待容量	9,882 kW				
提供する各月の送電可能電力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	11万	11万	...	11万	11万
応札容量	9,882 kW				
制度適用期間	20年				

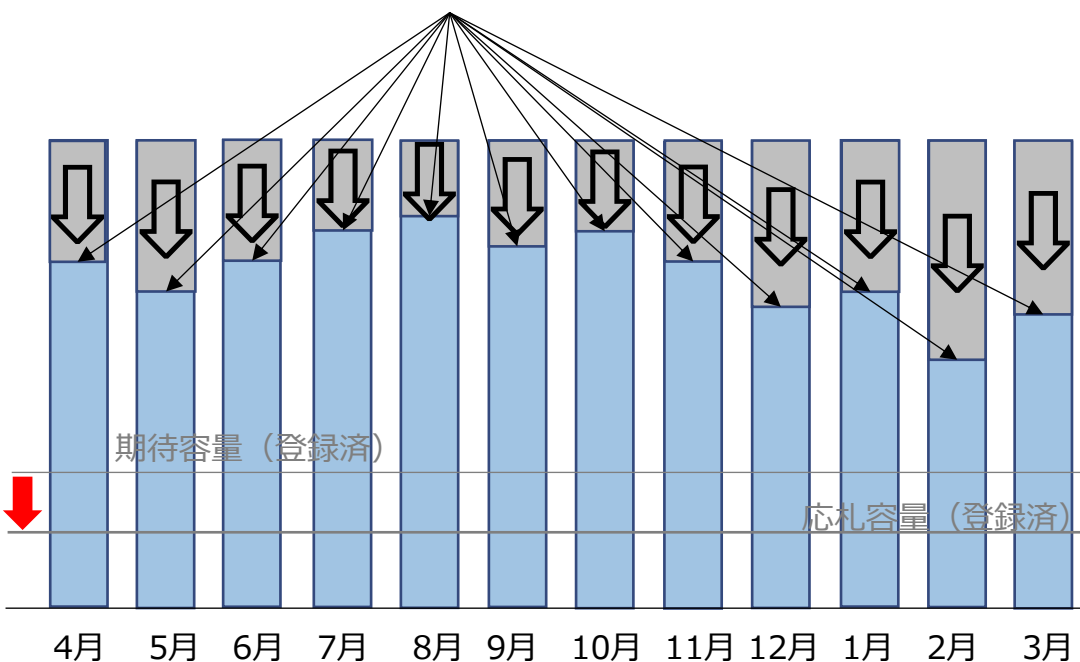
4. アセスメント対象容量【変動電源】（期待容量＞ 応札容量の場合）

23

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の送電可能電力」が、アセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は月ごとに設定され、制度適用期間（原則20年）の全年度にわたって適用されます。

灰字：既に設定済項目
 青字：事業者が設定する項目
 赤字：自動計算する項目

①アセスメント対象容量

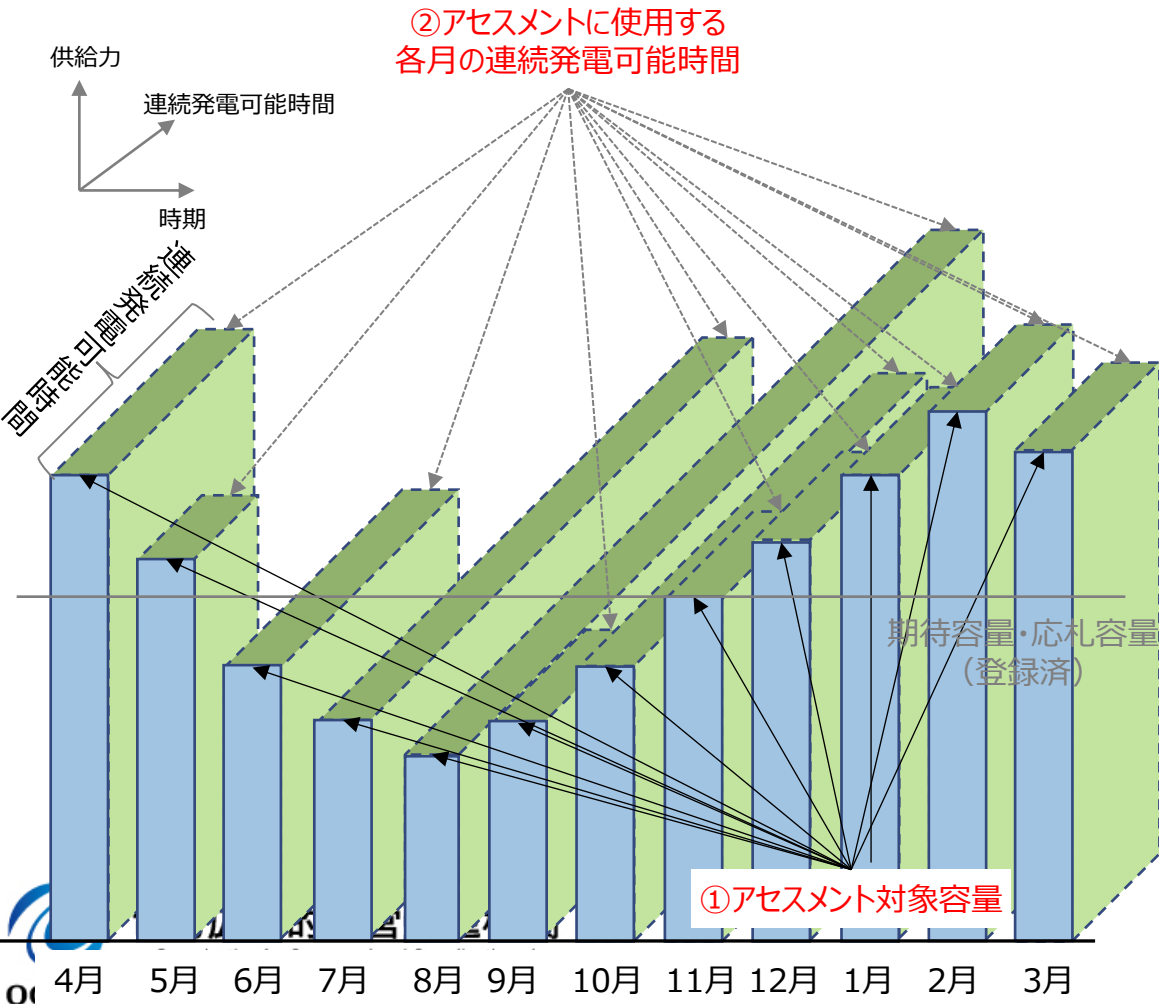


期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
容量を提供する 電源等の区分	変動電源				
中略					
本オークションに参加可能な 設備容量(送電端)	11万 kW				
調整係数	9.0%				
期待容量	9,882 kW				
提供する各月の 送電可能電力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	8万	9万	...	7万	8万
応札容量	7,187 kW				
制度適用期間	20年				

4. アセスメント対象容量【安定電源(揚水、蓄電池、LDES)】
(期待容量 = 応札容量の場合)

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「各月の管理容量」がアセスメント対象容量になります。
- アセスメント対象容量及びアセスメントに使用する各月の連続発電可能時間は、月ごとに設定され、制度適用期間(原則20年)の全年度にわたって適用されます。

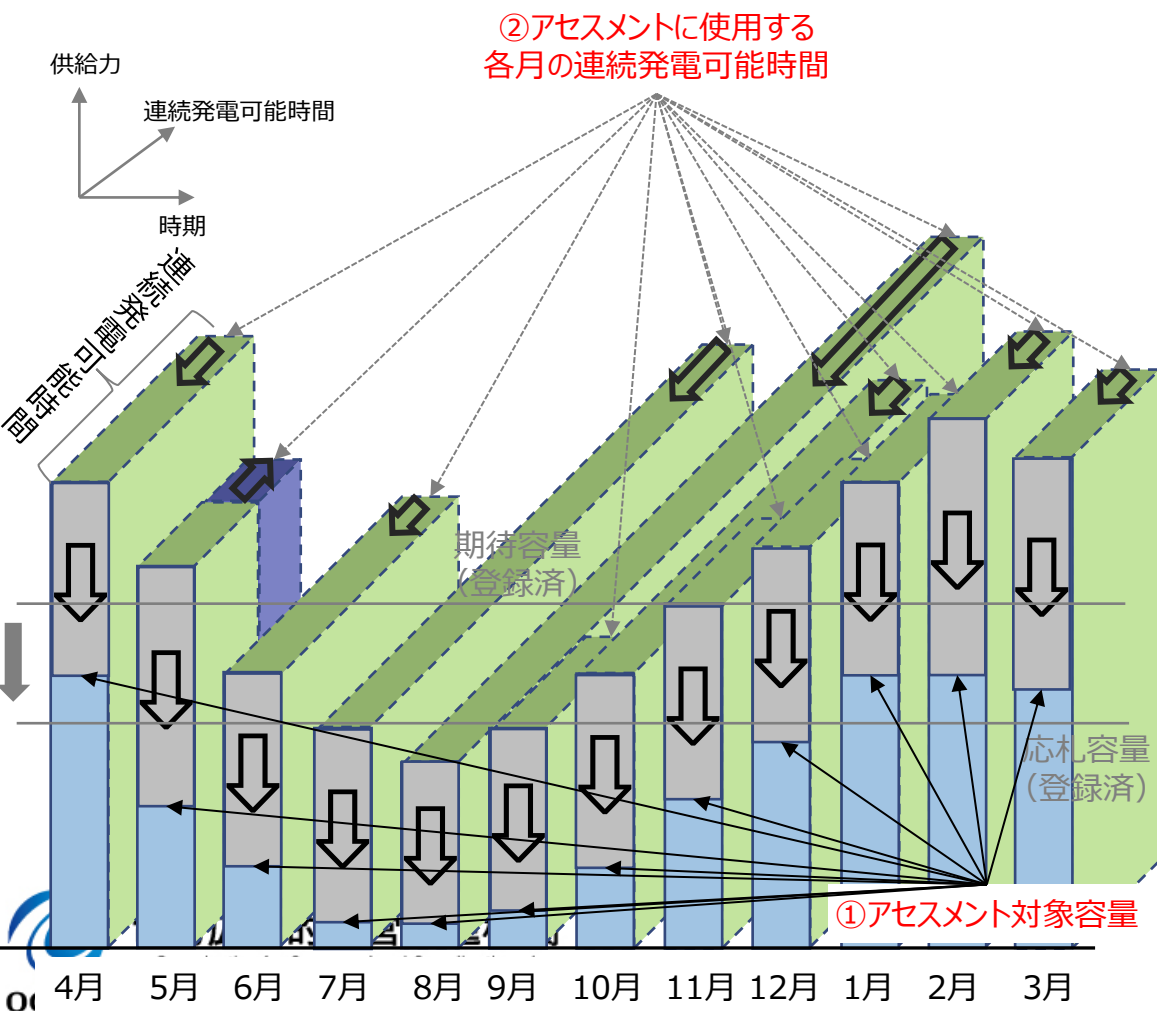


期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
中略					
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力 (期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量 ①	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(応札容量算出用) ②	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
連続発電可能時間 (年平均値)	7h				
応札容量	45,254 kW				
制度適用期間	20年				

4. アセスメント対象容量【安定電源(揚水、蓄電池、LDES)】
(期待容量> 応札容量の場合)

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「各月の管理容量」がアセスメント対象容量になります。
- アセスメント対象容量及びアセスメントに使用する各月の連続発電可能時間は、月ごとに設定され、制度適用期間(原則20年)の全年度にわたって適用されます。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
	中略				
本オークションに参加可能な設備容量(送電端)	5万 kW				
各月の発電可能電力(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	5万	4万	...	5万	4万
各月の連続発電可能時間(期待容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	8h	6h	...	8h	8h
期待容量	45,254 kW				
各月の管理容量	4月	5月	...	2月	3月
	4万	3万	...	4万	3万
各月の連続発電可能時間(応札容量算出用)	4月	5月	...	2月	3月
	7h	8h	...	8h	8h
連続発電可能時間(年平均値)	6h				
応札容量	34,479 kW				
制度適用期間	20年				

- 『期待容量等算定諸元一覧』については、本機関HPにおいてエクセル版を公表しております。期待容量及び応札容量を算定する際には、エクセル版『期待容量等算定諸元一覧』をダウンロードして使用してください。

<リンク先>

https://www.occto.or.jp/various/capacity-market/youryou-system/youryousystem_sankatouroku/2026_long.html

- 『期待容量等算定諸元一覧』を作成する際、容量市場システムの電源等情報に**対象実需給年度の時点で想定される情報**が登録されていることを確認してください。
- 参加登録申請者が『期待容量等算定諸元一覧』を容量市場システムに提出する場合、ファイル名を以下のとおり設定してください。なお、『期待容量等算定諸元一覧』については、①期待容量の登録時及び②応札期間終了後の2回提出していただきますので、ファイル名にご注意ください。

<期待容量提出時>

ファイル名「エリア_長期期待容量_電源等識別番号.xlsx」としてください。

例) 東京_長期期待容量_0123456789.xlsx

<応札期間終了後>

ファイル名「エリア_長期応札容量_電源等識別番号.xlsx」としてください。

例) 東京_長期応札容量_0123456789.xlsx

【留意点】

- ✓ 数字で記載するのは電源等識別番号のみです。
- ✓ 「期待容量」や「応札容量」の箇所は「〇〇〇〇kW」等の値で記載しないでください。